

○ 中川さんは、自分が読んだ物語の中から、すばらしいと感じた作品を友だちに推薦することになりました。
そこで、二つの資料を読み、推薦文の書き方を考えることにしました。

【資料A】

あなたが命をさし出せば、多くの人を救うことができる。ためらえば、多くの人がぎせいになるだろう。
でも、あなたには、あなたの死を悲しむ家族がまっている――。
ぎりぎりの選択。あなたならどうしますか。
貧しい暮らしの中、たくさんの悲しみや苦しみ乗り越えて生きてきた主人公、グスコブドリ。
彼は、自らの命をさし出す道を選びます。
しかし、彼が本当に救おうとしたのは……。
宮沢賢治の「グスコブドリの伝記」。
人のために生きる気高さが、ここにあります。
あなたの心をゆさぶる一冊です。

【資料B】

「なめとこ山の熊」という古い童話がある。
不思議な男の物語だ。
彼は熊をうつつ獵師なのに、熊の心が分かっ
てしまうのである。
考えてもらいたい。私たちが毎日食べている魚。魚が私たちに食べられることを悲しんでいるとしたら。そして、そのことを知りながらも、日々食べ続けなければならぬとしたら。
私たちはどれほどたまらない気持ちで生きることになるだろう。
主人公・小十郎は、そんな毎日を生きている。そして、彼には意外な結末が訪れる。
私たちの周りにも、きっと不思議な人がいる。
「なめとこ山の熊」はそんなことを思わせる物語だ。

一 【資料A】、【資料B】には共通する書き方があります。次の1〜4のうち、共通している書き方を一つ選び、□に書きましょう。

- 1 引用して内容を紹介している。
- 2 主人公を紹介している。
- 3 推薦している物語を読むよう働きかけている。
- 4 読み手に働きかける書き出しを取り入れている。

二 中川さんは、「グスコープドリの伝記」を、本の帯おびを通して推薦することにしました。【資料A】をもとに、本の帯の下書きを作りましょう。

グスコープドリの伝記

宮沢賢治

組
番
氏名